

## SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2014 PRESS RELEASE

# SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2014 観客人気投票結果発表!! 長編部門『青、そして少しだけピンク』 短編部門『帰ろうYO!』 アニメーション部門『就活狂想曲』

21世紀、映画のスタンダードとなったDシネマ(デジタルシネマ)にいち早くフォーカスし、次代を担う若手映像クリエイターの発掘・支援を目的に2004年にスタートした「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭」(主催:埼玉県、川口市、SKIPシティ国際映画祭実行委員会ほか)。第11回目の開催となった「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2014」は、去る7月27日(日)、クロージング・セレモニー(表彰式)が行われ、長編・短編・アニメーション部門のコンペティション3部門各賞の発表とともに全日程を終了いたしました。そしてこの度、会期中に行われた観客人気投票による投票結果が決定いたしました。審査員による主催者賞の授与とは別に発表される本結果は、来場されたお客様ひとりひとりによる人気投票の集計結果となっており、1位を獲得した作品は、もっとも観客の皆さまの支持を集めた作品として、まさに「観客賞」ともいえる結果となっています。投票結果は下記の通りです。ぜひ本情報を貴媒体にてご紹介ご検討の程、よろしくお願い申し上げます。

## 長編部門(国際コンペティション) 観客人気投票結果

### ■ 第1位 『青、そして少しだけピンク』

2013/ベネズエラ、スペイン/110分 監督:ミゲル・フェラーリ ★ジャパンプレミア作品



#### ■ミゲル・フェラーリ監督 コメント

映画が「ありのままの自分」というものを描いた場合、たとえ映画が成功と呼べるものにはならなかったり、考察が不十分だったとしても、それは問題ではありません。その映画は非常にユニバーサルであり、世界中の人々が映画に自分を重ねあわせることができる作品になるはずです。

私の『青、そして少しだけピンク』が日本の観客から拍手をもって迎えられ、投票で第一位に選ばれたことを、大変光栄に思います。特に、この作品は私の魂そのものの作品ですので、本当に嬉しいです。

#### <STORY>

ゲイの父と、離れて暮らしていた息子。二人にとって本当の家族とは？

カメラマンのディエゴは、同性のパートナーと幸せに暮らしていた。そんなとき、別れた妻のもとにいる息子のアルマンドがやってくる。しかし、息子は父に反発し、ディエゴは父親として認められるために奮闘する。

#### <解説>

ミゲル・フェラーリ監督はベネズエラで演劇を学び、俳優として多数のTVシリーズに出演。その後、マドリッドで映画演出を学び、初監督短編『What Goes Up』(08)は第24回グアダラハラ国際映画祭や第13回ブリュッセル短編映画祭で上映された。長編監督デビューとなる本作は、ベネズエラでは興行収入1位に輝き、その後モンリオール世界映画祭2013のフォーカス・オン・ワールド・シネマ部門で上映された。更に、スペインのアカデミー賞にあたるゴヤ賞2014で最優秀イベロアメリカ映画賞を受賞した、親子の絆を描くフィールグッド・ドラマ！

■ 第2位 『恋に落ちた男』 2014/韓国/120分/監督:ハン・ドンウク

■ 第3位 『約束のmatterホルン』 2013/オランダ/88分/監督:ディーデリク・エビンゲ

■ **第1位 『帰ろうYO!』** 2014/日本/30分 監督:松本 卓也



©シネマ健康会



■松本 卓也 監督 コメント

こんなに嬉しい事はない。  
だって映画は皆さんに観てもらおう為に作っているし、願わくば観た人の心をワシ掴みしたいから。  
これってワシ掴みまでとはいってなくても、貴方の衣類の裾くらいは引っ張れたって事で良いだろうか？うん、そうに違いない。  
これからも、皆さんの衣類を引っ張ってピロンピロンにしていこう。こんなに嬉しい後日談って、滅多にないぞ。数ある映画の中で拙作を観て頂き、選んで頂き、感謝致します。

<STORY>

言葉じゃ伝えられないメッセージ。ラップで綴る人生再生コメディ!

リクはヒップポップをやっていたが、メンバーの脱退でグループは解散。それを機に、恋人のマイにプロポーズし、地元に戻って暮らすことを決意する。マイを母に紹介するため、二人は帰省するが...

★短編部門「奨励賞」受賞作品

■ **第2位 『十人十色 世界は何色でできてるの?』** 2013/日本/30分/監督: 館澤 諒

■ **第3位 『ストロボ』** 2014/日本/24分/監督: A.T.

■ **第1位 『就活狂想曲』** 2012/日本/7分 監督:吉田 まほ



©2012 MAHO YOSHIDA / TOKYO UNIVERSITY OF THE ARTS



■吉田 まほ 監督 コメント

観客の皆様から反響を頂けて、とても嬉しいです。ありがとうございました。

<STORY>

主人公はごく普通の女子大生。ところが、友人たちが躍起になっている「就活」が一体どのようなものなのかを見極められぬままに、彼女もまたその渦中へと引きずり込まれていく。作者の辛辣なブラック・ユーモアが炸裂する。

★アニメーション部門「奨励賞」受賞作品

■ **第2位 『鬼の角』** 2013/日本/7分/監督: 森田 律子

■ **第2位 『通勤ラッシュズ』** 2013/日本/9分/監督: 野中 晶史 ※同率2位2作品となりました。

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2014

- 主催: 埼玉県、川口市、SKIPシティ国際映画祭実行委員会、特定非営利活動法人さいたま映像ボランティアの会
- 共催: 公益財団法人 埼玉県産業文化センター
- 会期: 2014年7月19日(土)~27日(日)
- 会場: SKIPシティ(埼玉県川口市) / 大宮ソニックシティ国際会議室(埼玉県さいたま市)※7/19のみ
- 公式サイト: [www.skipcity-dcf.jp](http://www.skipcity-dcf.jp)